

制強化

工の開設も予定

と新しくデザインした入口



同店の新井社
ロナウイリスの影響で
月未まで公開を中止。今
月からは第二、四週の上
日と祝日限定で公開を再
開。8月からは毎週土日
と祝日に公開している。
来春には3号機を活用
したカフェのオープン計
画しているほか、展
ギャラリーやトイレの設

方創生事業を報告

桐生信用金庫

桐生市「販路拡大」の解決に取
り組むもの。助成金額は
1,000万円。
発表会の開会に当たり
就職意識調査を実施した

作3号機を開発したと発
表した。これまでに比べ
コンパクトで軽量化が進
んだモデルとなる。
同研究グループでは、
ロックダウンや外出自粛
などを不要化する新しい
社会基盤となるマスクの
開発に6月上旬から取り
組んでおり、7月中旬に試
作1、2号機を完成させ

飛沫感染防止パネル寄贈 新構造で照明の反射などを軽減

三山テクノス

食器置架などのステン
レス加工を手掛ける三山
テクノス（伊勢崎市赤堀
今井町2-1044-11、
赤石祐司社長☎0270
6151359）は7日、
新たに開発した飛沫（ひ
まつ）感染防止パネルと
スクリーンスタンドを伊



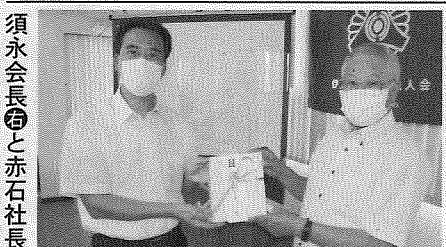
小型化に成

今回の試作3号機で
は、これまでの試作機に
設置した温度調整装置や
紫外線照射などの機能を
取り除き、携帯性を重視
した。

「ワクチンや適切な治療
法がない中、自由外出マ
スクの完成はウイルス感
染をコントロール監視下
に置く『決め手』とな
る。民間企業が開発に名
乗りを上げることが期待
する」としている。

勢崎市倫理法人会（須永
敏夫会長）に寄贈した。
同社では須永会長から
の依頼を受け、同会で実
施する会議やセミナーな
どで利用する同パネルと
同スタンドを開発した。
飛沫感染防止パネル
は、教壇の上に設置する
タイプでサイズは幅85
センチ、高さ80センチで奥行きは
下部が44センチ、上部35センチ。
3枚のパネルに差し込み
のスリットを入れ、それ
らを差し込み組み立てる
ことで、垂直自立するつ
くりとなっている。
また、差し込みに傾斜
を付けることにより前面
のパネルが前傾し、照明
の反射や撮影時の写り込
みを軽減する構造となっ

ていて、人物の撮影を鮮
明に写す効果が期待でき
るといふ。
側面のパネルは圧迫感
を少なくするため、箱型
ではなく上部を短くし丸
みを持たせた。アクリル
板は5センチ厚のものを使用
し、パネル自体が湾曲す
る心配も少ない。
スクリーンスタンド
は、プロジェクトスク
リーンで利用する自立ス
タンド。同会ではこれ
からつるして使用してい
た。設置には毎回、脚立
を使っていたこともあり
今回の寄贈となった。
須永会長は「マスクを
着けながらだと話しく
く、聞こえにくい。中に



須永会長と赤石社長

赤石社長は「パネルに
傾斜をつける構造は、反
射を抑え飛沫も拡散しな
い角度にと試行錯誤を重
ねた。学校など教育現場
でも利用が望めるのでは
ないか」と語った。

ト「シェアロコリクルー
ト」について紹介。
宮坂代表理事は地元人
材を採用したい企業と地
元志向の高校生のマッチ
ングを目的に、高校生の
就職意識調査を実施した

サービスを開発し、EC
サイトで販売していく事
業について話した。

災害対応の情報収集を任
務とする機能別消防団員
の発足式を太田市消防本
部で行った。
同消防団では今年度か
ら、能力や事情に応じて
特定の活動のみに従事す
る「機能別消防団員」を
発足させることになり、
向かえれば」と話した。
同行で消防団のリーダー

光之消防長は、「情報は
消防にとって一番の要
それそれぞれの持ち場の中
で、消防本部と消防団が
一体となって災害に立ち
向かえれば」と話した。

栃木県不動産競売入札予告情報

宇都宮地方裁判所足

令和2年9月4日

開札期日 令和2年9月9日 午前10時（場所：宇都宮地方裁判所足利支部売却場）

売却決定日

（宇都宮地方裁判所足利支部-1）

区分	構造	面積 (㎡)	売却基準価額 (買受可能価額)
宅地	木造軽量鉄骨造亜鉛メッキ	208.26	1,553,500
倉庫		115.70	(1,242,800)
宅地	木造	522.41	3,621,000
住宅		約 108.91	(2,896,800)
宅地・山林 住宅	木造	393.00	3,833,000
		126.25	(3,066,400)
		44.60	
		1階 80.73 2階 49.68	

事件番号	競売物件所在地
31 (ケ) 11	足利市堀込町 151
31 (ケ) 11	足利市堀込町 180-1
01 (ケ) 27	足利市葉鹿町 1288-5 " 1288-5
01 (ケ) 29	足利市福居町 708-16 " 708-16

市民との協働により着実な歩みを実感できる

みどり市長 須

また、昨今の気象変動
に伴い、度重なる自然災
害のため、市内全地区に自
ら備えているとともに、防
災力の向上に取り組み
各町の拠点となる指定選
は災害時に長期化する避
上図るため、空調整備を
す。

そして現在、コロナ禍
活様式」が取り入れられ
ワークなど働き方が変
チャンスと捉え、東京か
なく来られる地の利を生
り組
みび
魅力
する
生か
るま
まい
子高
が不
の市
の問
対処
保に
援や
住・
まい
年度
よる
に専
地整
体的
ころ